

持続可能な開発と公的資金

～ ヨハネスブルグサミットから一年～

8/3 (日)

10:00-18:00

定員：200名 参加費：一般 ¥1,000 / 学生 ¥700 / 会員 無料

YMCAアジア青少年センター
スペースY

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5

共催：「環境・持続社会」研究センター (JACSES)、PACT、Redefining Progress

昨年8月に南アフリカで開かれたヨハネスブルグサミット (持続可能な開発に関する世界サミット、WSSD) では、資金問題に大きな焦点が当てられました。地球レベルで持続可能な社会を実現するためには、先進国と途上国の双方における適切な取り組みが必須です。そのためには、それを促す公的資金政策が大きな鍵を握っています。しかし、現実の公的資金政策は、かえって環境・社会問題の発生を促しているケースも少なくありません。

本シンポジウムでは、国内外からNGO・専門家・政策担当者をお呼びして、「先進国の持続可能な生産・消費パターンを実現するための国内公的資金 (税制・財政)」および「途上国における持続可能な開発を推進するための国際協力資金 (政府開発援助)」に関する現状と課題、改革の方向性を明らかにしていきます。

PROGRAM

【基調講演】 公的資金における持続可能性 - 地球的共生の戦略を求めて - 古沢 広祐 (JACSES)

【第一部：持続可能な社会と税財政】

誰のための税財政改革か？

足立 治郎 (JACSES)

環境税財政改革～国・地方自治体の取り組み～

諸富 徹 (京都大学)

OECD諸国における環境関連税制：

ニルス・アクセル・ブラーテン (OECD本部)

米州政府による環境保全のための税制措置：

アンドリュー・ホーナー (Redefining Progress)

パネルディスカッション：

先進国の生産消費パターン変更のための税財政のあり方

クリスチャン・イーグ (Ecological Council)

アンドリュー・ホーナー

ニルス・アクセル・ブラーテン

諸富 徹

足立 治郎

他

【第二部：途上国の貧困・環境問題解決のための国際協力資金】

国際協力資金の概要とドナー国の制度的課題：

川村 暁雄 (神戸女学院大学)

チャシュマ灌漑プロジェクト (パキスタン) とアジア開発銀行：

ムシュタク・ガディ (MAUJ パキスタン)

ナルマダ・ダム開発 (インド) と世界銀行：

デイナ・クラーク (米国弁護士)

パネルディスカッション：

国際協力資金のあるべき姿

中村浩平 (外務省経済協力局調査計画課課長補佐)

リチャード・フォレスト (PACT Institute, 米国)

秋元由紀 (バンクインフォメーションセンター, 米国)

川村 暁雄

ムシュタク・ガディ

司会： 古沢広祐 (國學院大学)

石田恭子 (JACSES)

お申し込み、お問い合わせは

JACSES

「環境・持続社会」研究センター

<http://www.jacses.org/>

〒106-0047 東京都港区南麻布

5-2-32 興和広尾ビル2F

tel. 03-3447-9515

fax. 03-3447-9383

email: jacses@jacses.org

申し込み方法：

・ウェブサイトの場合：JACSESのウェブサイト (<http://www.jacses.org/>) の送信フォーマットに従って送信ください。

・FAXの場合：氏名、所属、メールアドレス、電話番号を記入し、セミナー参加の旨をFAXにて下記までお送りください。



webからお申し込み



FAX
03-3447-9383

～ 会場案内 ～

